

患者申出療養の実績報告について

中医協 総 - 2 - 2
7 . 1 . 2 9

患 - 1
6 . 11 . 2 1

令和6年度（令和5年7月1日～令和6年6月30日）実績報告より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（令和6年6月30日現在）	7種類
② 患者申出療養機関数（令和6年6月30日現在）	13施設※1
③ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）	約1.0億円
④ 患者申出療養費用の総額	約0.9億円
⑤ 総金額（③+④）	約2.0億円
⑥ 総金額のうち患者申出療養費用の割合（④ / ⑤）	46.8%

※1 1施設で複数の患者申出療養を実施している場合でも、1施設として計上している。

※2 ③～⑤の費用については小数点2桁以下を四捨五入している。

患者申出療養の実績報告について

令和6年度（令和5年7月1日～令和6年6月30日）実績報告等より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（令和5年6月30日現在）	10種類
② 新規承認技術数	3種類
③ 保険収載技術数	1種類
④ 実施取り下げ技術数	5種類
⑤ 削除技術数	—
⑥ 患者申出療養技術数（令和6年6月30日現在）	7種類

< 過去5年間の実績 >

	実績報告 対象期間	技術数	実施医療 機関数	全患者数	総金額	保険外併用療養 費の総額 (保険診療分)	患者申出療養 の総額	全医療費のうち患者申 出療養分の割合
令和2年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R1.7.1～R2.6.30 (12ヵ月)	7	21施設	78人	約0.6億円	約0.3億円	約0.3億円	52.4%
令和3年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R2.7.1～R3.6.30 (12ヵ月)	8	23施設	208人	約1.9億円	約0.95億円	約0.95億円	50.2%
令和4年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R3.7.1～R4.6.30 (12ヵ月)	8	24施設	296人	約2.6億円	約1.5億円	約1.1億円	42.0%
令和5年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R4.7.1～R5.6.30 (12ヵ月)	10	24施設	312人	約2.4億円	約1.1億円	約1.2億円	52.5%
令和6年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R5.7.1～R6.6.30 (12ヵ月)	7	13施設	287人	約2.0億円	約1.0億円	約0.9億円	46.8%

令和6年(令和5年7月1日～令和6年6月30日)の患者申出療養の費用

患-1(参考資料1-1)
6 . 1 1 . 2 1

告示 番号	患者申出療養技術名 (適応症)	開始年月日	総合計 (円)	患者申出療養 費用の総額 (円)	平均 入院期間 (日)	実施件数 (件)	1件あたりの 患者申出療養費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
2	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分子標的治療 (根治切除が不可能な進行固形がん)	令1. 10. 1	146,620,728	60,351,379	2.7	258	233,920	13
4	ダブラフェニブ経口投与及びトラメチニブ経口投与の併用療法 (進行固形がん)	令5. 1. 19	7,225,827	3,604,725	9.5	8	450,591	1
5	タゼメスタット経口投与療法 (悪性固形腫瘍)	令5. 2. 17	30,497,958	21,200,458	24.3	9	2,355,606	1
6	経皮的胸部悪性腫瘍凍結融解壊死療法 (肺悪性腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜悪性腫瘍又は胸壁悪性腫瘍)	令5. 4. 14	6,256,062	5,402,020	4.0	4	1,350,505	1
7	EPI-589経口投与療法 (筋萎縮性側索硬化症)	令5. 7. 20	1,249,318	1,192,618	-	1	1,192,618	1
8	ペミガチニブ経口投与療法 (進行固形がん)	令5. 11. 16	942,940	775,130	-	1	775,130	1
9	遺伝子パネル検査結果等に基づく分子標的治療 (悪性腫瘍)	令6. 1. 18	8,903,080	1,800,000	29.5	6	300,000	1
合 計			201,695,913	94,326,330		287	6,658,370	19

令和6年度(令和5年7月1日～令和6年6月30日)の患者申出療養の
開始年月日、終了予定日、協力医療機関数及び年間実施件数

患-1(参考資料1-2)
6 . 1 1 . 2 1

告示 番号	患者申出療養技術名 (適応症)	臨床研究中核病院名	開始年月日	終了予定日	協力医療 機関数	年間実施件数 (令和5年7月～ 令和6年6月まで の実績)
2	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子 プロファイリングに基づく分子標的治療 (根治切除が不可能な進行固形がん)	国立がん研究センター中央病院	令1. 10. 1	令10. 8. 31	12	258
4	ダブラフェニブ経口投与及びトラメチニブ経口投与 の併用療法 (進行固形がん)	北海道大学病院	令5. 1. 19	令9. 3. 31	-	8
5	タゼメスタット経口投与療法 (悪性固形腫瘍)	国立がん研究センター中央病院	令5. 2. 17	令10. 2. 29	-	9
6	経皮的胸部悪性腫瘍凍結融解壊死療法 (肺悪性腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜悪性腫瘍又は 胸壁悪性腫瘍)	慶應義塾大学病院	令5. 4. 14	令8. 9. 30	-	4
7	EPI-589経口投与療法 (筋萎縮性側索硬化症)	大阪大学医学部附属病院	令5. 7. 20	令6. 12. 31	-	1
8	ペミガチニブ経口投与療法 (進行固形がん)	名古屋大学医学部附属病院	令5. 11. 16	令12. 4. 30	-	1
9	遺伝子パネル検査結果等に基づく分子標的治療 (悪性腫瘍)	国立がん研究センター中央病院	令6. 1. 18	令10. 12. 31	-	6

※ 終了予定日は、実施計画の変更状況等の反映を踏まえ、今後変更する可能性がある。